

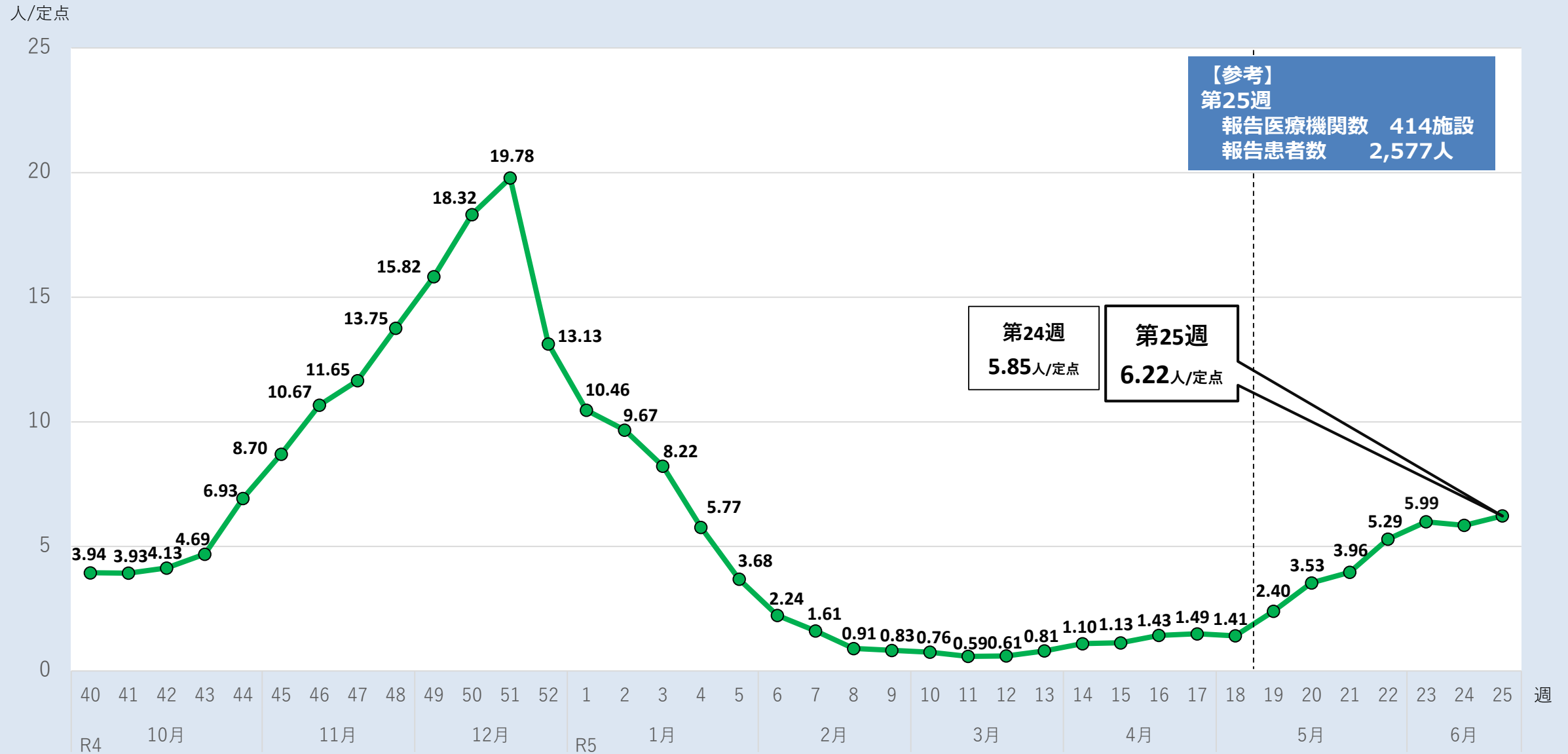
# モニタリング分析【令和5年6月29日 公表】

モニタリング項目		今週	前週
※①は7日間の合計、②③は7日間移動平均で算出 ※⑤は上位3つの変異株の割合を抽出		(令和5年6月29日 公表)	(令和5年6月22日 公表)
感染動向	① 定点医療機関当たり患者報告数 【定点医療機関からの患者報告数÷定点医療機関数】	6.22人/定点 (第25週 (6/19-6/25))	5.85人/定点 (第24週 (6/12-6/18))
	② #7119(※1)における発熱等相談件数 【7日間移動平均】	108.1件 (6/28)	98.3件 (6/21)
医療提供体制 への負荷	③ 救急医療の東京ルール <sup>(※2)</sup> の適用件数 【7日間移動平均】	81.1件 (6/28)	97.4件 (6/21)
	④ 入院患者数 【入院患者の総数】	1,031人 (6/26)	956人 (6/19)
変異株監視	⑤ 病原体サーベイランス (ゲノム解析) 【都内検体の直近のゲノム解析結果】	XBB.1.16 31.0% (6/5-6/11)	29.5% (5/29-6/4)
		XBB.1.5 18.0% (6/5-6/11)	17.9% (5/29-6/4)
		XBB.2.3 14.0% (6/5-6/11)	16.1% (5/29-6/4)
【参考】VRSデータによる都民のワクチン接種状況 令和5年春開始接種（令和5年5月8日開始）高齢者（65歳以上）		42.4% (6/25)	

専門家による分析
<p>■ 定点医療機関当たり患者報告数は、ほぼ横ばいであるが、引続き今後の動向に十分な注意が必要である。</p> <p>■ 発熱等相談件数はコロナ以外の相談も含めて増加している。</p> <p>■ 東京ルールの適用件数は減少している。</p> <p>■ 入院患者数は、横ばいである。全体としては、医療提供体制への大きな負荷は見られないが、地域や診療科によっては、他の熱性疾患等の受診者が増加してきており、状況を注視する必要がある。</p> <p>■ 周囲の状況等に応じて、換気、手洗い、場面に応じたマスク着用などの感染防止対策を心がけることが望ましい。</p> <p>■ 特に重症化リスクの高い高齢者等は、早めのワクチン接種を検討することが望ましい。</p>

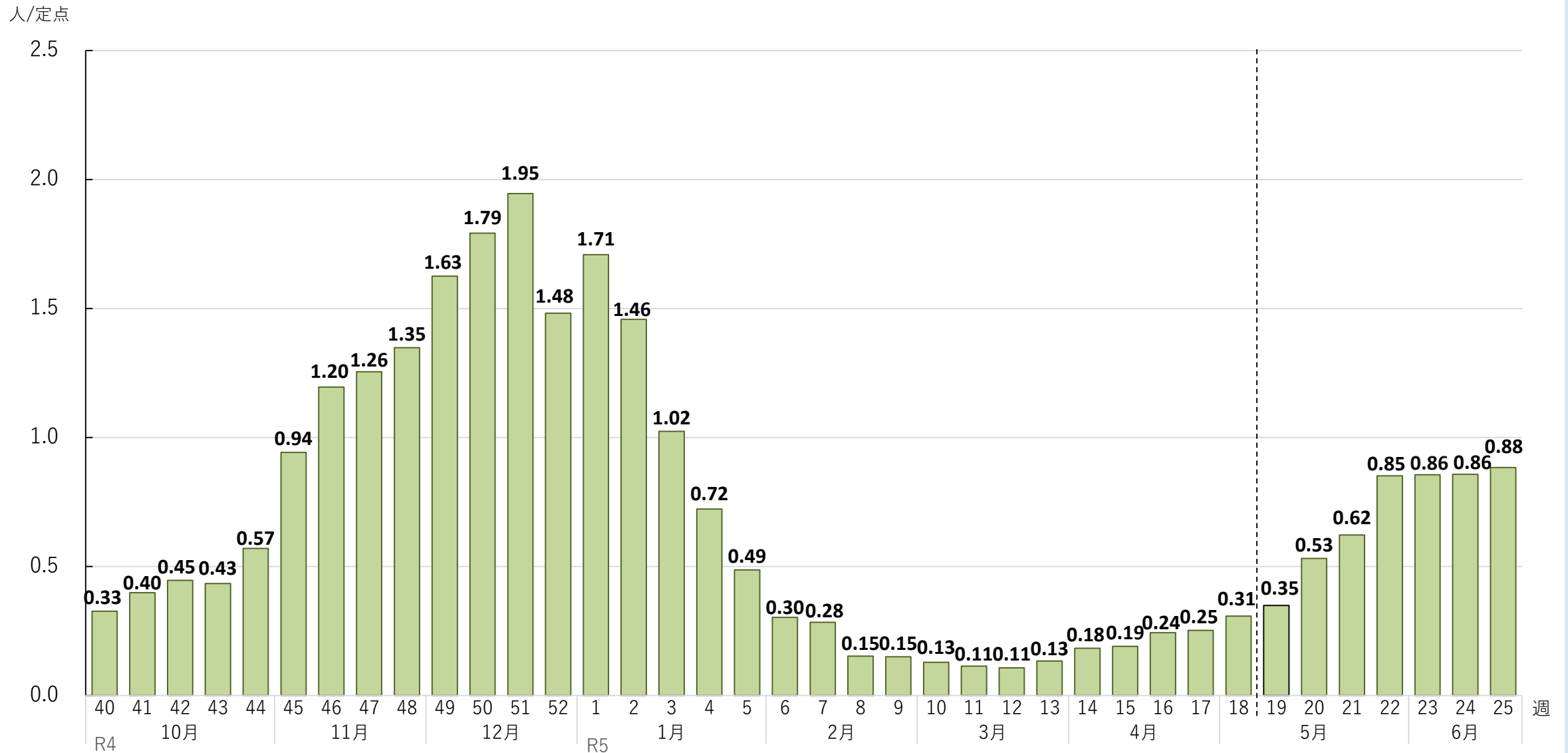
※1 東京消防庁救急相談センター。急病やけがの際に、緊急受診の必要性や診察可能な医療機関をアドバイスする電話相談窓口  
 ※2 救急隊による5医療機関への受入要請又は選定開始から20分以上経過しても搬送先が決定しない事案

# ①-1 定点医療機関当たり患者報告数



(注) 医療機関からの報告に基づき、遡って修正が加わる可能性がある

## ①-2 60歳以上の定点医療機関当たりの患者報告数



(注) 医療機関からの報告に基づき、遡って修正が加わる可能性がある

### ①-3 定点医療機関当たり年代別患者報告数

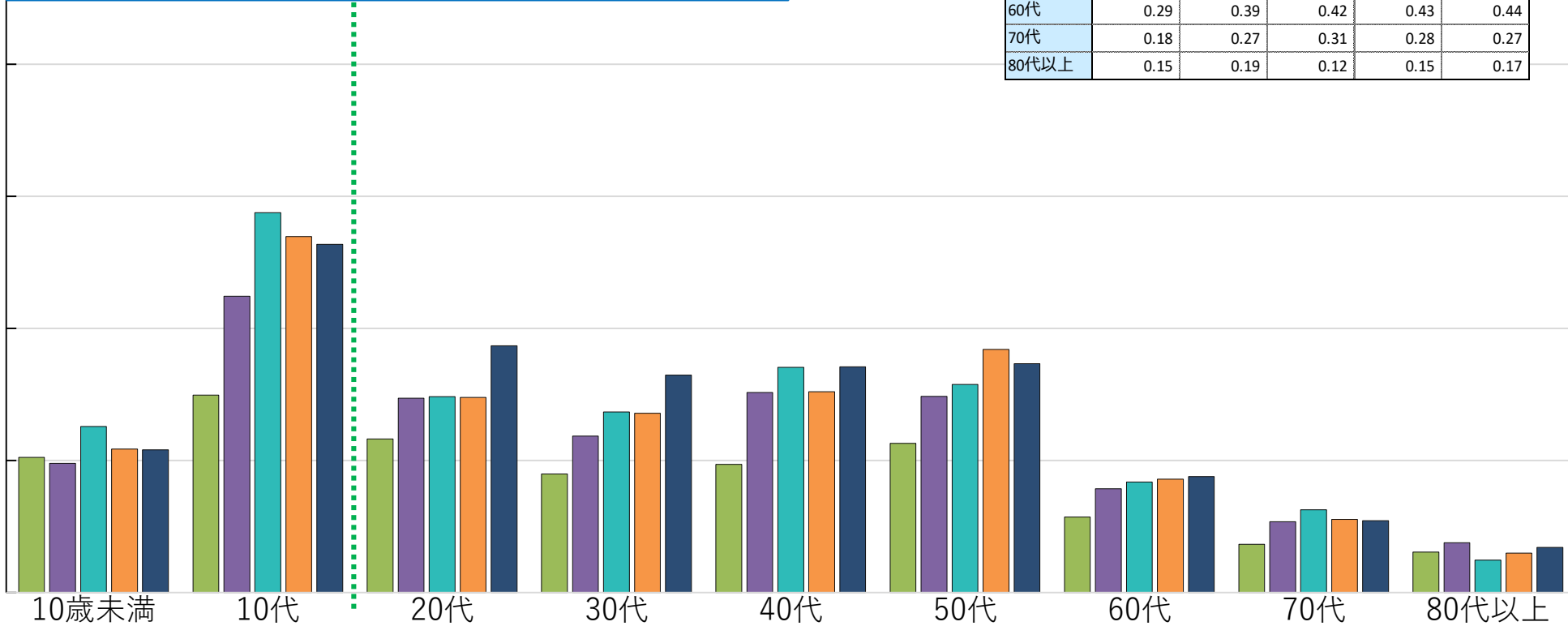
3.0人  
2.5人  
2.0人  
1.5人  
1.0人  
0.5人  
0.0人

＜本グラフについて＞  
 ・年代等により受療行動に差があるため、例えば受診をためらう人が多い世代では、過小評価となる場合がある。  
 ・定点医療機関数は小児科が多い（小児科定点264 内科定点155）ことから、10歳未満及び10代の数値が、他の年代と比べ過大評価となることに留意する必要がある。

(単位：人/定点)

	第21週	第22週	第23週	第24週	第25週
10歳未満	0.51	0.49	0.63	0.54	0.54
10代	0.75	1.12	1.44	1.35	1.32
20代	0.58	0.74	0.74	0.74	0.93
30代	0.45	0.59	0.68	0.68	0.82
40代	0.49	0.76	0.85	0.76	0.86
50代	0.56	0.74	0.79	0.92	0.87
60代	0.29	0.39	0.42	0.43	0.44
70代	0.18	0.27	0.31	0.28	0.27
80代以上	0.15	0.19	0.12	0.15	0.17

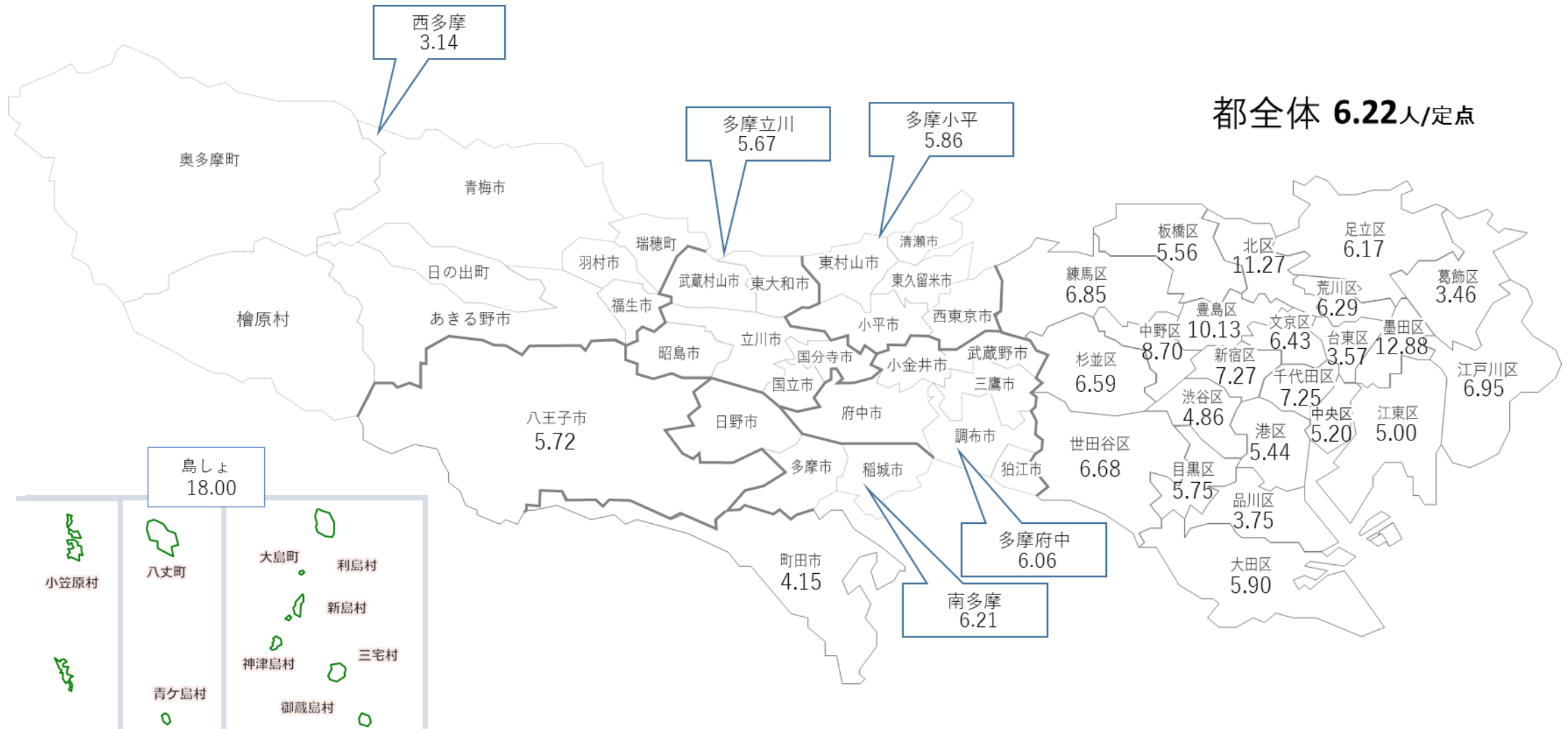
■ 第21週  
 ■ 第22週  
 ■ 第23週  
 ■ 第24週  
 ■ 第25週



(注1) 医療機関からの報告に基づき、遡って修正が加わる可能性がある

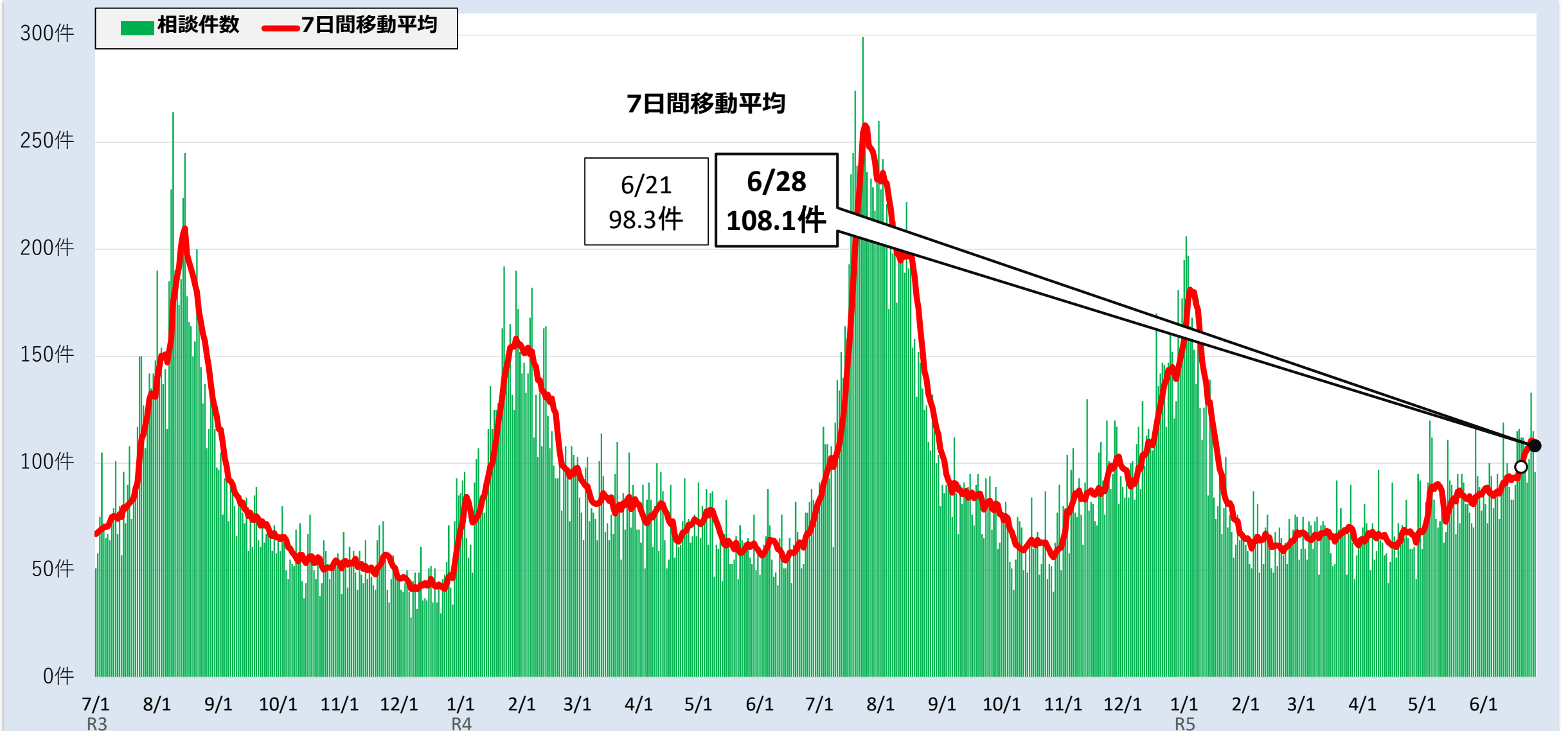
(注2) 年代別の定点当たり報告数は小数点以下第3位を四捨五入しているため、合計しても、必ずしも総数とは一致しない

# ①-4 定点医療機関当たり患者報告数(保健所区域別、第25週(6/19~6/25))



(注) 各保健所の定点医療機関から報告のあった患者数/各保健所の報告のあった定点医療機関数

## ② #7119における発熱等相談件数



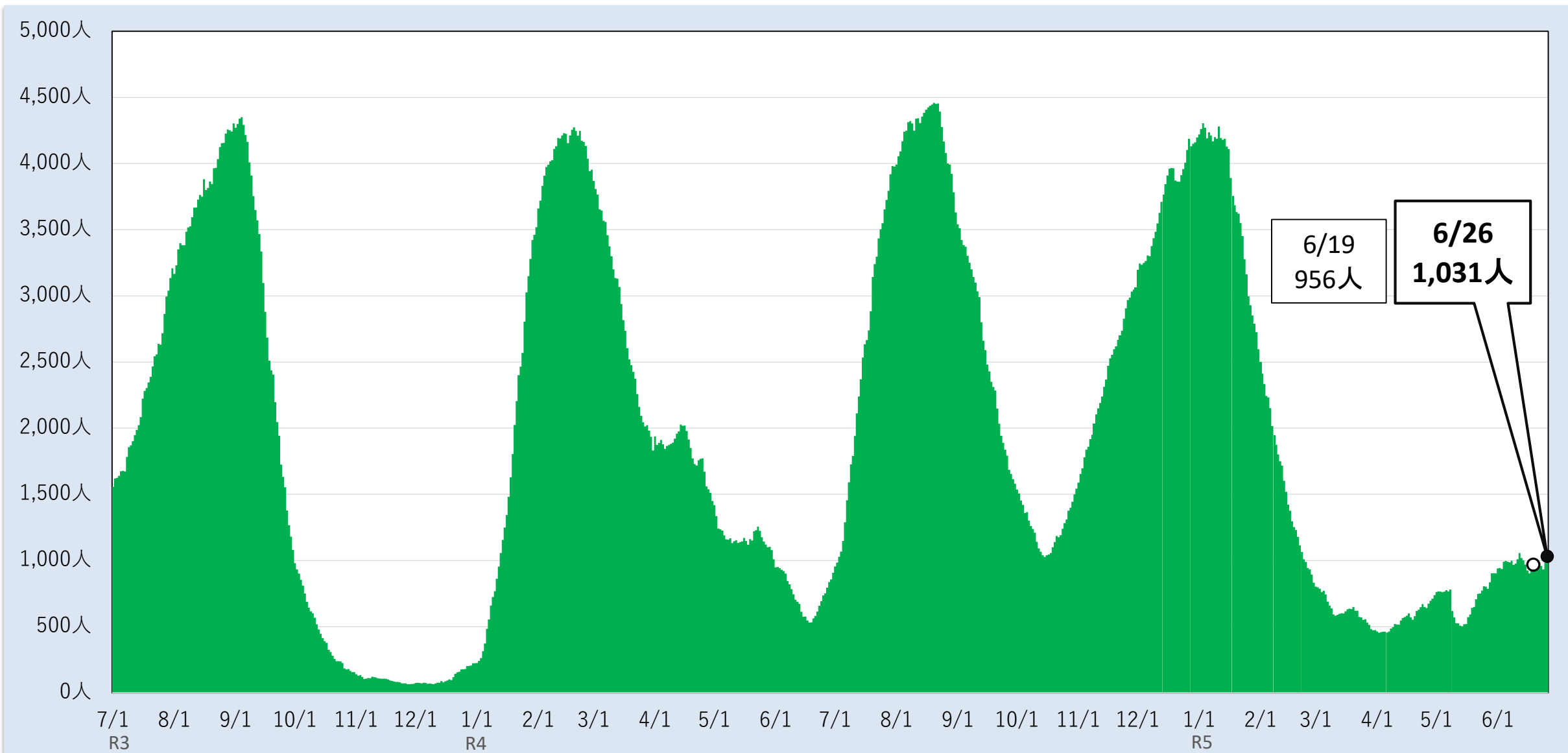
(注) 曜日などによる件数のばらつきにより、日々の結果が変動するため、こうしたばらつきを平準化し全体の傾向を見る趣旨から、過去7日間の移動平均値を相談件数として算出

### ③ 救急医療の東京ルールの適用件数



(注) 曜日などによる件数のばらつきにより、日々の結果が変動するため、こうしたばらつきを平準化し全体の傾向を見る趣旨から、過去7日間の移動平均値を適用件数として算出

## ④ 入院患者数

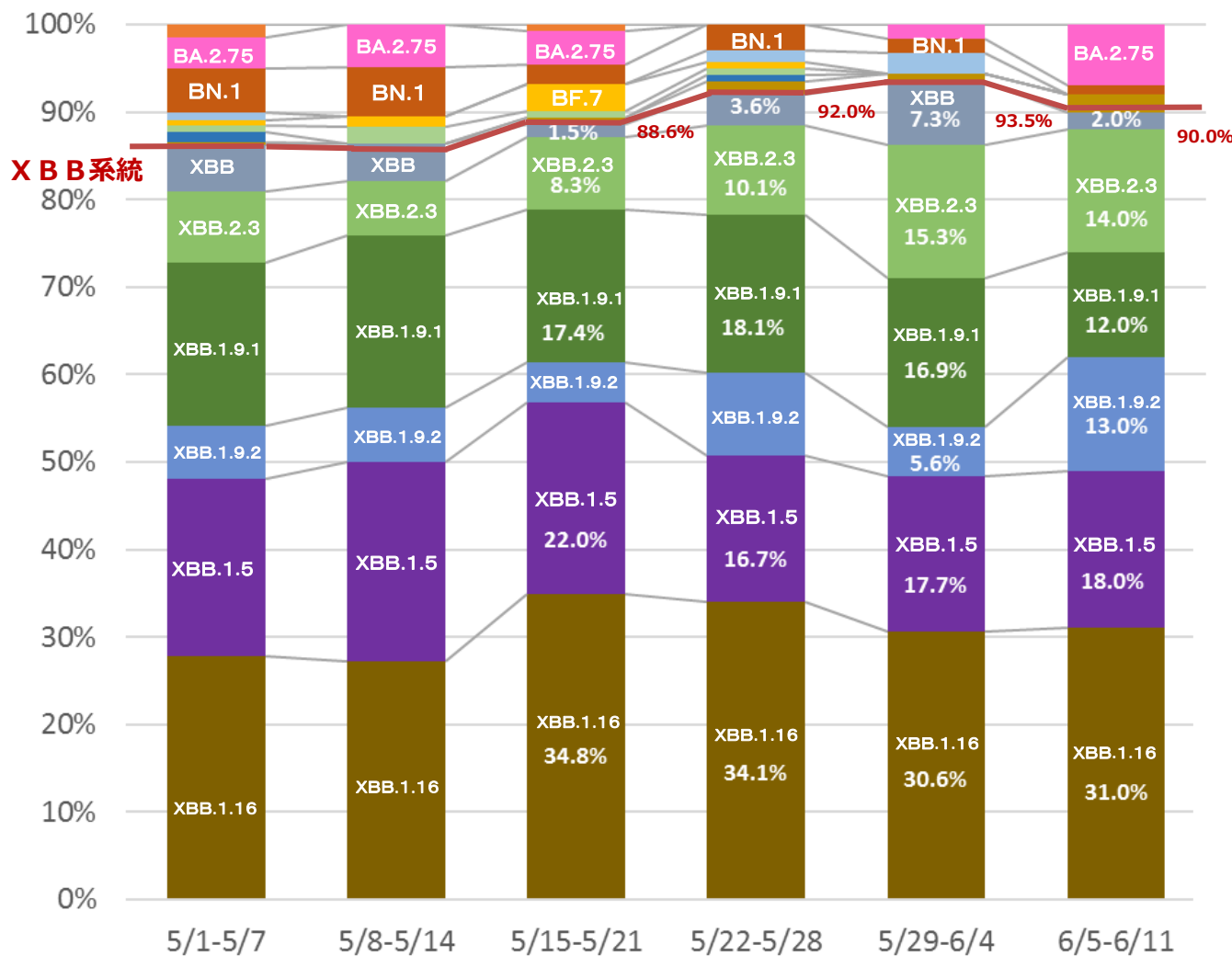


(注) 医療機関からの報告に基づき、遡って修正が加わる可能性がある



# ⑤ 病原体サーベイランス（ゲノム解析）

（令和5年6月29日12時時点）



	5/29-6/4	6/5-6/11	増減	5/29-6/4 (実数)	6/5-6/11 (実数)
XBB.1.16 (XBBの亜系統)	30.6%	31.0%	→	38	31
XBB.1.5 (XBBの亜系統)	17.7%	18.0%	→	22	18
XBB.2.3 (XBBの亜系統)	15.3%	14.0%	↓	19	14
XBB.1.9.2 (XBBの亜系統)	5.6%	13.0%	↑	7	13
XBB.1.9.1 (XBBの亜系統)	16.9%	12.0%	↓	21	12
BA.2.75	1.6%	7.0%	↑	2	7
組換え体 (XBB以外)	0.8%	2.0%	↑	1	2
XBB	7.3%	2.0%	↓	9	2
BN.1 (BA.2.75の亜系統)	1.6%	1.0%	↔	2	1
BA.2	0.0%	0.0%	→	0	0
BF.7 (BA.5の亜系統)	0.0%	0.0%	→	0	0
BQ.1 (BA.5の亜系統)	0.0%	0.0%	→	0	0
BQ.1.1 (BA.5の亜系統)	0.0%	0.0%	→	0	0
BA.5	2.4%	0.0%	↓	3	0

※ 都内検体の、過去6週に報告を受けた、ゲノム解析の実績(速報)

※ 追加の報告により、更新する可能性あり

※ BA.2とBA.2.12.1とBA.2.75とBN.1は別々に計上。BA.4とBA.4.6は別々に計上。BA.5とBF.7とBQ.1とBQ.1.1は別々に計上。XBB.1.5とXBB.1.9.1とXBB.1.9.2とXBB.1.16とXBB.2.3は別々に計上(XBBは左記以外のXBB系統)。(報告時点でのPango系統による)

※1.0%pt以上の増減 ↑ ↓  
0.5%pt以上の増減 ↗ ↘